



佐賀労働局

平成30年3月発行

# 魅力ある職場づくりのために ～佐賀県内の取組事例集



# 目次



- 1 働き方改革取組事例 . . . . . 1
- 2 生産性向上取組事例 . . . . . 14
- 3 佐賀働き方改革推進センター  
(平成30年度厚生労働省佐賀労働局委託事業)  
のご案内 . . . . . 25
- 4 生産性向上のための各種支援制度 . . . . . 25
- 5 働き方改革のための各種助成制度 . . . . . 26

# 働き方改革取組の事例集

# 味の素 株式会社

【事業の種類】 食料品製造業 【労働者数】 186人

## 取組

### ☆トップメッセージ

- ・年間の総労働時間・年次有給休暇取得の目標を立て、その目標を達成するため、部署ごとの労働時間の目標を定めた。

### ☆会議・業務の簡素化

- ・資料作成について最初に完成イメージを上司と相談する、7割完成したら上司に内容を確認する。また、ペーパーレス化を図った。

### ☆活動を盛り上げる工夫

- ・“カエル”のキャラクターを制作し、“仕事を変える”“意識を変える”、“早く家に帰る”をテーマに、社内にポスターを掲示した。

## 成果

- ☆年間総労働時間については、労働者平均1年当たり100時間以上の削減に成功。
- ☆年次有給休暇取得率（取得率は90%以上）についても前年比でアップした。

2016年度からの「働き方改革」を通じて  
“変わった”と感ずること

- 『要員も極小化され、早帰りなんて絶対ムリ！って思っていました。でも、実際にやり始めたら、帰る時間をまず決めて、必ずその時間までに終わらせるよう優先順位を決めて取り組むようにしました。身体も楽になり仕事の効率も上がりました。』
- 『定時に帰る日は、カエルのイラストのマグネットを行動予定表に貼るので、グループ全員がわかり、仕事のフォローやシェアの声掛けができるようになりました。』
- 『時間をかけて作成していた月報を簡略化し、一方で上司への報告をこまめに行うことで、正確な進捗確認ができるようになったうえにコミュニケーションも活発になりました。』
- 『これまでは同じ内容の報告書を何種類も作り分けていましたが、会議の回数が減り、今は一種類だけに効率化されました。』

## 九州事業所 働き方改革

### 目指す姿

「定時退社を前提としながら新たな価値を創造する働き方 ～時間生産性の追求～」

## カエル！KYUSHUプロジェクト

仕事を変える、  
意識を変える、  
早く家に帰る！



### ①定時後の配慮

- ・原則会議を入れない
- ・緊急でないメールは送らないようにする
- ・緊急でないPHSはかけないようにする



### ②資料作成の効率化

- ・最初に完成イメージを上司と相談する
- ・相談時は形式にこだわらない  
(気軽に相談できる雰囲気をつくる、手書きでもOKなど)
- ・7割完成したら上司と内容を確認する



### ③周囲との連携強化

- ・悩んでいることはすぐ相談する
- ・頼り頼られる職場風土を作る

# 株式会社 リンガーハット

【事業の種類】 食料品製造業 【労働者数】 320人

## 取組

### ☆安全衛生委員会で時間外労働時間数を把握

- ・安全衛生委員会で、時間外労働1か月45時間超の労働者及び36協定の特別条項で定めた限度時間を超える回数が特別条項で定める6回を超えないように管理している。2か月連続で45時間を超えないように、優先的に人員を配置したり、ライン間での応援を行うことにより、業務量の平準化を図った。

### ☆長期休暇の設定

- ・今年から社員全員に、少なくとも年1回の7連続休暇（内有給休暇2日以上）の取得を義務付けた。

## 成果

☆長期休暇の取得率は以前は50%未満であったが、今年は90%を超える見込み。

### 担当者コメント

月の休日が10日と休日が多い環境や労働者数に占める正社員の割合が少ないことから有給休暇を使うという環境・雰囲気整備されていない点があった。  
その環境・雰囲気を変えるため、トップダウンで役職者に有給を取得させ、一般社員がとりやすい環境を作った。併せて2～3人でチームを組み互いに休めるような体制を整備した。  
ただ単に有給取得を呼びかけても取得は進まない。

休日・休暇	項目	内容	備考
春期休日休暇 (グリーン休暇)	休暇日数	7日(公休3日、有給4日)	
	期間	3月1日～6月30日	
	夏期休日休暇 (オレンジ休暇)	休暇日数	7日(公休3日、有給4日)
	期間	7月1日～10月31日	
冬期休日休暇 (ホワイト休暇)	休暇日数	7日(公休3日、有給4日)	
	期間	11月1日～2月28日	
リフレッシュバカンス	資格条件	10年、20年、30年の永年勤続社員	
	有効期間	表彰翌日より2年後の2月末日	
	休暇日数	連続休暇14日間 (特休7日、有給4日、公休3日)	勤続5年、15年、25年、の社員については、公休と有給の併用とする。
	表彰内容	20年勤続表彰の正社員へ功労金として現金20万円を支給する。 (本人の所得として、源泉税を徴収する。)	
アニバーサリー休暇	対象者	正社員本人および配偶者・子	
	条件	結婚記念日および誕生日	
	内容	有給休暇1日	

# 製造業

【事業の種類】 食料品製造業 【労働者数】 100人～300人

## 取組

### ☆年次有給休暇取得促進の取組

- ・ 誕生月の年次有給休暇取得奨励日数の増加

### ☆製造アイテム数の削減

- ・ 客先へアナウンスの上で、製造アイテム数を300種類→285種類に変更し、ラインの切り替え等の業務を軽減。

## 成果

- ☆ 全体的に時間外労働が減少したが、労働者によっては増加した者もいるため、今後も引き続き改善を進めていく。

【事業の種類】 食料品製造業 【労働者数】 100～300人

## 取組

### ☆年間の生産設備メンテナンス計画を作成

- ・ 計画的なオーバーホールを実施した。

### ☆課内及び課を超えた多能工化

- ・ 20項目以上の生産工程をOJTによるジョブローテーションを行った。

## 成果

- ☆ ライン稼働率が上昇（4%アップした）。稼働率向上によるトラブル対応時間の減少、効率的な生産につながり、時間外労働時間の削減に繋がった。

【事業の種類】 パルプ・紙製造業

【労働者数】 100～300人

## 取組

☆**会議の見直し**

- ・会議の統廃合や構成人員の見直し、資料の簡素化、TV会議の活用、会議時間を30分と定める等実施した。

☆**製造機械の立ち会い作業の効率化**

- ・作業の集中化を避けるため、マシンの立ち上げ時に、管理者ではなく操業長レベルで対応できるようにした。

## 成果

☆**時間外労働の削減に繋がった。**

---

【事業の種類】 一般機械器具製造業

【労働者数】 100～300人

## 取組

☆**年次有給休暇の計画的付与制度を導入**

- ・年間平均14日の年次有給休暇を計画的に一齐付与し工場を休日にした。

☆**トップメッセージ**

- ・創業時から時間外労働と休日出勤0を宣言

## 成果

☆**時間外労働は皆無、年次有給休暇の取得率は向上した。**

【事業の種類】 金属製品製造業 【労働者数】 10～50人

## 取組

### ☆トップメッセージ

- ・会社を支えているのは社員の技術であり、技術は長く勤務することにより継承され高めていくことができるとの理念の下に、仲間意識を持って社員と向き合うことで、調和のとれた働き方、効率の良い働き方を達成し、会社の一員である前に一人の社会人として充実した人生を送ってほしいとのトップメッセージを社員全員に周知した。

### ☆年次有給休暇取得を社長や上長が声かけ

- ・定期的に声かけを行う等により、全員が取得しやすい環境を作る。

### ☆長期休暇の取得方法の推奨

- ・GWや夏期休暇時と年次有給休暇を合わせることで長期休暇となるような取得方法を推奨している。

### ☆定時退社の取組

- ・毎週土曜日はノー残業デーとし、繁忙期を除く時期は、終業5分前から清掃作業を行い、全員が17時には定時退社できるよう推奨

## 成果

☆年次有給休暇について、過去1年間の一人平均取得日数は14日、取得率80%と高い。

☆時間外労働について、昨年度の1ヶ月当たりの平均時間外労働は約5時間であった。

【事業の種類】 輸送用機械等製造業 【労働者数】 100～300人

## 取組

### ☆多様な働き方

- ・定年再雇用者によるチームを立ち上げ、高齢者でも能力を活用できるような工程を創出した。

### ☆有給休暇取得の環境づくり

- ・有給休暇取得時の穴埋め要因として10名ほどの人員を確保し、有給休暇を取得しやすい環境を整備している。

## 成果

☆定年後の労働者でも働きやすい職場環境となった。

☆製造現場の労働者が気兼ねなく年次有給休暇を取得できるようになった。

【事業の種類】 輸送用機械等製造業 【労働者数】 50～100人

## 取組

### ☆人材不足への対応

- ・定時後、役職者による工場の見回りを実施
- ・若くても能力が高い人を評価する賃金制度の導入
- ・パート労働者について労働時間を4時間から8時間の範囲内で勤務できるよう柔軟に対応することで人員を確保。

## 成果

☆正社員の時間外労働の削減に繋がった。

# 道路貨物運送業

【事業の種類】

道路貨物運送業

【労働者数】

10~50人

## 取組

### ☆有給休暇取得促進の取組

- 取組前は年次有給休暇の取得がほぼ0%であったため、代表者から取得促進の声かけをし、年次有給休暇について管理部門から率先して取得。

### ☆時間外労働削減の取組

- 運行計画を見直し、高速道路の利用を促進したほか、賃金体系の見直し（売上が反映する制度から、距離+時間のみの形態へ変更）を行った。

## 成果

### ☆年次有給休暇取得率 ほぼ0% → 50%

☆長時間労働が無くなり、労働者からは体が楽になった、家族との時間が増えた等メリットの方が多かったとの声が多数あり、休みやすくなったことによる人員の定着した。

☆運転手の知り合いからも会社で働きたいという人が増えたため、人員募集の際の充足率が上昇した。

☆会社主導での取組が進んだことにより、労働者からも積極的な業務改善について意見がでるようになった。

### 苦労した点

歩合制的性格が強い賃金設計を日給月給制に変更した点、その前提としての適正な時間管理が必要→デジタコの導入で可能となった。  
また大幅な賃金制度の変更になるため三か月かけて集団的及び個別的に労働者に賃金変更の試算資料を使って説明を行い納得を得るのが苦労した。社長含め取引先企業に運賃の見直しを要請し、繰り返し交渉した結果、高速代を含めた運賃改定を労働時間の削減により人件費が抑制され、会社としても業績は好調で起業以来初の決算賞与を出せるまでの好業績となった。

給与体系 計算方法 (本社長距離)

1 【デジタコによる集計データ】の集計結果を色ごとに下記項目に転記して計算する。  
 2 1名基本内賃金、歩合賃金、割増分の算定する。  
 3 基本外賃金は固定となるが、従業員からの申告により変更があった場合、変更する。

日付	始業時刻	終業時刻	拘束時間	拘束時間	実働時間	時間外	深夜時間	時間外	深夜時間
9日	10:11	22:23	14:48	29:33	8:23	0:00	0:23		0:23
10日	7:35	21:26	13:51		8:43	2:09			
11日	7:50	4:18	20:23	34:14	13:20	2:17			3:21
12日	13:09	22:23	9:24	43:39	7:58	0:00	0:18		
13日	8:01	23:53	11:27	55:05	8:23	2:36	0:23		1:33
14日	8:10	22:37	14:47	49:52	11:09	2:36			0:49
15日	9:49	2:04	18:15	46:07	12:59	2:01			3:09
16日	10:29	19:44	11:54	49:22	7:45	0:00			
17日	7:50	18:20	10:30	109:52	9:38				
18日	13:17	2:56	13:21	115:07	8:34		1:05		0:54
19日	8:11	8:11	18:26	134:33	13:39		2:16		3:36
20日	8:11	16:53	15:49	142:14	6:28		6:15		3:34
21日	1:02	19:58	18:56	181:10	13:55				
22日	7:29	20:07	7:17	168:27	7:00				
23日	17:56	21:50	13:46	172:21	8:46				2:05
24日	8:04	19:20	12:07	183:37	9:42	2:02			
25日	7:19	1:11	17:59	201:35	12:16	2:31			2:05
26日	9:45	20:58	14:31	212:46	6:45				
27日	8:25	8:46	3:47	218:07	9:21				
28日	5:59	18:04	14:56	229:12	10:13	2:23			
29日	4:08	23:48	14:57	244:09	10:53	1:25	0:52		1:48
30日	8:24	0:31	18:07	280:16	11:37	2:05			1:52
31日	8:03	18:11	11:34	269:24	7:16				
合計	4:37	7:03	2:28	271:50	1:56	0:23			2:04

  

項目	計算式	金額
① 週40時間 超過	超過時間 × 1.25 × 基本賃金	1,250.00
② 週40時間 超過	超過時間 × 1.50 × 基本賃金	1,500.00
③ 週40時間 超過	超過時間 × 2.00 × 基本賃金	2,000.00
④ 週40時間 超過	超過時間 × 2.50 × 基本賃金	2,500.00
⑤ 週40時間 超過	超過時間 × 3.00 × 基本賃金	3,000.00
⑥ 週40時間 超過	超過時間 × 3.50 × 基本賃金	3,500.00
⑦ 週40時間 超過	超過時間 × 4.00 × 基本賃金	4,000.00
⑧ 週40時間 超過	超過時間 × 4.50 × 基本賃金	4,500.00
⑨ 週40時間 超過	超過時間 × 5.00 × 基本賃金	5,000.00
⑩ 週40時間 超過	超過時間 × 5.50 × 基本賃金	5,500.00
⑪ 週40時間 超過	超過時間 × 6.00 × 基本賃金	6,000.00
⑫ 週40時間 超過	超過時間 × 6.50 × 基本賃金	6,500.00
⑬ 週40時間 超過	超過時間 × 7.00 × 基本賃金	7,000.00
⑭ 週40時間 超過	超過時間 × 7.50 × 基本賃金	7,500.00
⑮ 週40時間 超過	超過時間 × 8.00 × 基本賃金	8,000.00
⑯ 週40時間 超過	超過時間 × 8.50 × 基本賃金	8,500.00
⑰ 週40時間 超過	超過時間 × 9.00 × 基本賃金	9,000.00
⑱ 週40時間 超過	超過時間 × 9.50 × 基本賃金	9,500.00
⑲ 週40時間 超過	超過時間 × 10.00 × 基本賃金	10,000.00
⑳ 週40時間 超過	超過時間 × 10.50 × 基本賃金	10,500.00
㉑ 週40時間 超過	超過時間 × 11.00 × 基本賃金	11,000.00
㉒ 週40時間 超過	超過時間 × 11.50 × 基本賃金	11,500.00
㉓ 週40時間 超過	超過時間 × 12.00 × 基本賃金	12,000.00
㉔ 週40時間 超過	超過時間 × 12.50 × 基本賃金	12,500.00
㉕ 週40時間 超過	超過時間 × 13.00 × 基本賃金	13,000.00
㉖ 週40時間 超過	超過時間 × 13.50 × 基本賃金	13,500.00
㉗ 週40時間 超過	超過時間 × 14.00 × 基本賃金	14,000.00
㉘ 週40時間 超過	超過時間 × 14.50 × 基本賃金	14,500.00
㉙ 週40時間 超過	超過時間 × 15.00 × 基本賃金	15,000.00
㉚ 週40時間 超過	超過時間 × 15.50 × 基本賃金	15,500.00
㉛ 週40時間 超過	超過時間 × 16.00 × 基本賃金	16,000.00
㉜ 週40時間 超過	超過時間 × 16.50 × 基本賃金	16,500.00
㉝ 週40時間 超過	超過時間 × 17.00 × 基本賃金	17,000.00
㉞ 週40時間 超過	超過時間 × 17.50 × 基本賃金	17,500.00
㉟ 週40時間 超過	超過時間 × 18.00 × 基本賃金	18,000.00
㊱ 週40時間 超過	超過時間 × 18.50 × 基本賃金	18,500.00
㊲ 週40時間 超過	超過時間 × 19.00 × 基本賃金	19,000.00
㊳ 週40時間 超過	超過時間 × 19.50 × 基本賃金	19,500.00
㊴ 週40時間 超過	超過時間 × 20.00 × 基本賃金	20,000.00
㊵ 週40時間 超過	超過時間 × 20.50 × 基本賃金	20,500.00
㊶ 週40時間 超過	超過時間 × 21.00 × 基本賃金	21,000.00
㊷ 週40時間 超過	超過時間 × 21.50 × 基本賃金	21,500.00
㊸ 週40時間 超過	超過時間 × 22.00 × 基本賃金	22,000.00
㊹ 週40時間 超過	超過時間 × 22.50 × 基本賃金	22,500.00
㊺ 週40時間 超過	超過時間 × 23.00 × 基本賃金	23,000.00
㊻ 週40時間 超過	超過時間 × 23.50 × 基本賃金	23,500.00
㊼ 週40時間 超過	超過時間 × 24.00 × 基本賃金	24,000.00
㊽ 週40時間 超過	超過時間 × 24.50 × 基本賃金	24,500.00
㊾ 週40時間 超過	超過時間 × 25.00 × 基本賃金	25,000.00
㊿ 週40時間 超過	超過時間 × 25.50 × 基本賃金	25,500.00
① 週40時間 超過	超過時間 × 26.00 × 基本賃金	26,000.00
② 週40時間 超過	超過時間 × 26.50 × 基本賃金	26,500.00
③ 週40時間 超過	超過時間 × 27.00 × 基本賃金	27,000.00
④ 週40時間 超過	超過時間 × 27.50 × 基本賃金	27,500.00
⑤ 週40時間 超過	超過時間 × 28.00 × 基本賃金	28,000.00
⑥ 週40時間 超過	超過時間 × 28.50 × 基本賃金	28,500.00
⑦ 週40時間 超過	超過時間 × 29.00 × 基本賃金	29,000.00
⑧ 週40時間 超過	超過時間 × 29.50 × 基本賃金	29,500.00
⑨ 週40時間 超過	超過時間 × 30.00 × 基本賃金	30,000.00
⑩ 週40時間 超過	超過時間 × 30.50 × 基本賃金	30,500.00
⑪ 週40時間 超過	超過時間 × 31.00 × 基本賃金	31,000.00
⑫ 週40時間 超過	超過時間 × 31.50 × 基本賃金	31,500.00
⑬ 週40時間 超過	超過時間 × 32.00 × 基本賃金	32,000.00
⑭ 週40時間 超過	超過時間 × 32.50 × 基本賃金	32,500.00
⑮ 週40時間 超過	超過時間 × 33.00 × 基本賃金	33,000.00
⑯ 週40時間 超過	超過時間 × 33.50 × 基本賃金	33,500.00
⑰ 週40時間 超過	超過時間 × 34.00 × 基本賃金	34,000.00
⑱ 週40時間 超過	超過時間 × 34.50 × 基本賃金	34,500.00
⑲ 週40時間 超過	超過時間 × 35.00 × 基本賃金	35,000.00
⑳ 週40時間 超過	超過時間 × 35.50 × 基本賃金	35,500.00
㉑ 週40時間 超過	超過時間 × 36.00 × 基本賃金	36,000.00
㉒ 週40時間 超過	超過時間 × 36.50 × 基本賃金	36,500.00
㉓ 週40時間 超過	超過時間 × 37.00 × 基本賃金	37,000.00
㉔ 週40時間 超過	超過時間 × 37.50 × 基本賃金	37,500.00
㉕ 週40時間 超過	超過時間 × 38.00 × 基本賃金	38,000.00
㉖ 週40時間 超過	超過時間 × 38.50 × 基本賃金	38,500.00
㉗ 週40時間 超過	超過時間 × 39.00 × 基本賃金	39,000.00
㉘ 週40時間 超過	超過時間 × 39.50 × 基本賃金	39,500.00
㉙ 週40時間 超過	超過時間 × 40.00 × 基本賃金	40,000.00
㉚ 週40時間 超過	超過時間 × 40.50 × 基本賃金	40,500.00
㉛ 週40時間 超過	超過時間 × 41.00 × 基本賃金	41,000.00
㉜ 週40時間 超過	超過時間 × 41.50 × 基本賃金	41,500.00
㉝ 週40時間 超過	超過時間 × 42.00 × 基本賃金	42,000.00
㉞ 週40時間 超過	超過時間 × 42.50 × 基本賃金	42,500.00
㉟ 週40時間 超過	超過時間 × 43.00 × 基本賃金	43,000.00
㊱ 週40時間 超過	超過時間 × 43.50 × 基本賃金	43,500.00
㊲ 週40時間 超過	超過時間 × 44.00 × 基本賃金	44,000.00
㊳ 週40時間 超過	超過時間 × 44.50 × 基本賃金	44,500.00
㊴ 週40時間 超過	超過時間 × 45.00 × 基本賃金	45,000.00
㊵ 週40時間 超過	超過時間 × 45.50 × 基本賃金	45,500.00
㊶ 週40時間 超過	超過時間 × 46.00 × 基本賃金	46,000.00
㊷ 週40時間 超過	超過時間 × 46.50 × 基本賃金	46,500.00
㊸ 週40時間 超過	超過時間 × 47.00 × 基本賃金	47,000.00
㊹ 週40時間 超過	超過時間 × 47.50 × 基本賃金	47,500.00
㊺ 週40時間 超過	超過時間 × 48.00 × 基本賃金	48,000.00
㊻ 週40時間 超過	超過時間 × 48.50 × 基本賃金	48,500.00
㊼ 週40時間 超過	超過時間 × 49.00 × 基本賃金	49,000.00
㊽ 週40時間 超過	超過時間 × 49.50 × 基本賃金	49,500.00
㊾ 週40時間 超過	超過時間 × 50.00 × 基本賃金	50,000.00
㊿ 週40時間 超過	超過時間 × 50.50 × 基本賃金	50,500.00
① 週40時間 超過	超過時間 × 51.00 × 基本賃金	51,000.00
② 週40時間 超過	超過時間 × 51.50 × 基本賃金	51,500.00
③ 週40時間 超過	超過時間 × 52.00 × 基本賃金	52,000.00
④ 週40時間 超過	超過時間 × 52.50 × 基本賃金	52,500.00
⑤ 週40時間 超過	超過時間 × 53.00 × 基本賃金	53,000.00
⑥ 週40時間 超過	超過時間 × 53.50 × 基本賃金	53,500.00
⑦ 週40時間 超過	超過時間 × 54.00 × 基本賃金	54,000.00
⑧ 週40時間 超過	超過時間 × 54.50 × 基本賃金	54,500.00
⑨ 週40時間 超過	超過時間 × 55.00 × 基本賃金	55,000.00
⑩ 週40時間 超過	超過時間 × 55.50 × 基本賃金	55,500.00
⑪ 週40時間 超過	超過時間 × 56.00 × 基本賃金	56,000.00
⑫ 週40時間 超過	超過時間 × 56.50 × 基本賃金	56,500.00
⑬ 週40時間 超過	超過時間 × 57.00 × 基本賃金	57,000.00
⑭ 週40時間 超過	超過時間 × 57.50 × 基本賃金	57,500.00
⑮ 週40時間 超過	超過時間 × 58.00 × 基本賃金	58,000.00
⑯ 週40時間 超過	超過時間 × 58.50 × 基本賃金	58,500.00
⑰ 週40時間 超過	超過時間 × 59.00 × 基本賃金	59,000.00
⑱ 週40時間 超過	超過時間 × 59.50 × 基本賃金	59,500.00
⑲ 週40時間 超過	超過時間 × 60.00 × 基本賃金	60,000.00
⑳ 週40時間 超過	超過時間 × 60.50 × 基本賃金	60,500.00
㉑ 週40時間 超過	超過時間 × 61.00 × 基本賃金	61,000.00
㉒ 週40時間 超過	超過時間 × 61.50 × 基本賃金	61,500.00
㉓ 週40時間 超過	超過時間 × 62.00 × 基本賃金	62,000.00
㉔ 週40時間 超過	超過時間 × 62.50 × 基本賃金	62,500.00
㉕ 週40時間 超過	超過時間 × 63.00 × 基本賃金	63,000.00
㉖ 週40時間 超過	超過時間 × 63.50 × 基本賃金	63,500.00
㉗ 週40時間 超過	超過時間 × 64.00 × 基本賃金	64,000.00
㉘ 週40時間 超過	超過時間 × 64.50 × 基本賃金	64,500.00
㉙ 週40時間 超過	超過時間 × 65.00 × 基本賃金	65,000.00
㉚ 週40時間 超過	超過時間 × 65.50 × 基本賃金	65,500.00
㉛ 週40時間 超過	超過時間 × 66.00 × 基本賃金	66,000.00
㉜ 週40時間 超過	超過時間 × 66.50 × 基本賃金	66,500.00
㉝ 週40時間 超過	超過時間 × 67.00 × 基本賃金	67,000.00
㉞ 週40時間 超過	超過時間 × 67.50 × 基本賃金	67,500.00
㉟ 週40時間 超過	超過時間 × 68.00 × 基本賃金	68,000.00
㊱ 週40時間 超過	超過時間 × 68.50 × 基本賃金	68,500.00
㊲ 週40時間 超過	超過時間 × 69.00 × 基本賃金	69,000.00
㊳ 週40時間 超過	超過時間 × 69.50 × 基本賃金	69,500.00
㊴ 週40時間 超過	超過時間 × 70.00 × 基本賃金	70,000.00
㊵ 週40時間 超過	超過時間 × 70.50 × 基本賃金	70,500.00
㊶ 週40時間 超過	超過時間 × 71.00 × 基本賃金	71,000.00
㊷ 週40時間 超過	超過時間 × 71.50 × 基本賃金	71,500.00
㊸ 週40時間 超過	超過時間 × 72.00 × 基本賃金	72,000.00
㊹ 週40時間 超過	超過時間 × 72.50 × 基本賃金	72,500.00
㊺ 週40時間 超過	超過時間 × 73.00 × 基本賃金	73,000.00
㊻ 週40時間 超過	超過時間 × 73.50 × 基本賃金	73,500.00
㊼ 週40時間 超過	超過時間 × 74.00 × 基本賃金	74,000.00
㊽ 週40時間 超過	超過時間 × 74.50 × 基本賃金	74,500.00
㊾ 週40時間 超過	超過時間 × 75.00 × 基本賃金	75,000.00
㊿ 週40時間 超過	超過時間 × 75.50 × 基本賃金	75,500.00
① 週40時間 超過	超過時間 × 76.00 × 基本賃金	76,000.00
② 週40時間 超過	超過時間 × 76.50 × 基本賃金	76,500.00
③ 週40時間 超過	超過時間 × 77.00 × 基本	

# 建設業

【事業の種類】 建設業

【労働者数】 10～50人

## 取組

### ☆トップメッセージ

- ・「時間外労働が多いことが、売りに繋がるとは限らない。生産性を上げ時間外労働を削減しよう」と、全職員に呼びかけた。

### ☆所定外労働時間の削減の取組

- ・労働時間削減について労働者と共に話し合い、その結果、労働者相互に応援態勢をとることになった。
- ・時間外労働がよいという風潮があり、無駄な時間外労働もあったため、意識改革を行った。

## 成果

☆年次有給休暇について、1人当たり平均取得率は75%に向上した。

☆時間外労働について、1ヶ月の平均所定外労働時間数は5時間、最も長い者でも1ヶ月15時間程度となった。

# 商業

【事業の種類】 小売業 【労働者数】 500～1000人

## 取組

### ☆作業工数管理システムの導入

- ・部門ごとの作業量について、一定の基準を持っていなかったため、どのような繁忙に対して、どのくらいの人員が必要となるかが、担当者それぞれの感覚で行われており、他部門への応援が効率的に行われていなかったため、全ての業務について、平均的な業務遂行時間を洗い出し、業務の繁忙に応じて必要な人員を計算できるようにした。

## 成果

- ☆担当者による個人差が無くなり、業務量に対して正確な人員配置を行うことが可能となった。人員配置の無駄が無くなることで、全社的な総労働時間の削減に繋がった。

【事業の種類】 小売業 【労働者数】 100～300人

## 取組

### ☆残業実施者を見る化

- ・1週間9時間（1か月換算で35時間）ペースで時間外労働を行っている労働者については、本人同意の上で名前を掲示している。

### ☆上司の懲戒処分

- ・36協定の上限（1か月35時間）を超える時間外労働を行かせた上司を懲戒処分とすることにより、労働時間管理の意識付けを図った。

### ☆安全衛生委員会で管理

- ・安全衛生委員会で特別条項を適用した労働者の数を把握し、法違反とならないように管理した。
- ・パート労働者の年次有給休暇取得率が低かったことから、安全衛生委員会でパート労働者の年次有給休暇取得率を議題にし、取得が低調な労働者については上司が個別に取得勧奨した。

### ☆計画的な年次有給休暇等の取得

- ・年5日の計画的付与制度を導入している他、労基法の年次有給休暇とは別に上半期と下半期にそれぞれ公休日と併せて連続7日の休暇を強く勧奨した。

## 成果

- ☆未把握

# 社会福祉施設

【事業の種類】 医療・福祉業

【労働者数】 100～300人

## 取組

### ☆トップメッセージ

- ・15年前の事業開始以来、職員の75%を担う女性の一層の活躍推進を目的に「定時退社・年次有給休暇完全消化」という事業所長（副理事長）の方針により、トップメッセージを事業所全体に明らかにした。

### ☆時間外労働時間の削減

- ・現業部門（保育士・介護福祉士）は定時退社を実行している。
- ・毎月の安全衛生委員会で部署ごとの時間外労働時間の確認を行い、削減可能な方策を検討している。

### ☆年次有給休暇取得促進の取組

- ・毎月の安全衛生委員会で取得状況を確認し、遅延している部署については取得促進を呼びかけている。
- ・毎月の勤務シフト表を作成する時点で取得計画を立てている。
- ・年次有給休暇の時間単位取得制度の導入した。

### ☆その他

- ・キャリアアップ助成金（正社員化コース）を活用して、正社員登用を実行している。

## 成果

☆年次有給休暇の取得促進 15年前の事業開始以来、90%以上の取得率を継続。

☆その他 職員の定着率は高く、ほとんど中途退職者はいない。

【事業の種類】 社会福祉施設

【労働者数】 100～300人

## 取組

### ☆新規採用者に特別有給休暇を5日付与

- ・若年層・新規採用職員に定着率を上げるために、採用時に特別有給休暇を5日付与した。

### ☆介護士資格取得費用を法人が負担

- ・介護士の資格のない者も採用し、法人が資格取得費用を負担することで採用の間口を拡大している。

### ☆年次有給休暇取得の推奨

- ・リフレッシュ目的のため、年次有給休暇の取得を年5日取得するよう推奨している。

## 成果

☆3年以内に離職する労働者はほとんどいない。

☆8割以上の労働者が連続休暇を取得し、年次有給休暇の取得日数が増加した。

# 接客娯楽業

【事業の種類】 旅館業

【労働者数】 100～300人

## 取組

☆業務報告の簡素化、ペーパーレス化

☆管理部門で残業時間数を日ごとに管理

- ・本社から部署単位で各労働者の労働時間が通知されるため、時間外労働月45時間を超えそうな場合は時間外労働をさせないように注意している。

☆賞与を増額

- ・今まで、労働者に労働時間に対する意識が低かったせいで、不要な時間外労働も一定程度あったと考えており、生活残業になっていた部分もあったため、減少した残業代を賞与に還元した（労働者によっては賞与が3倍になった者もいる）。

☆リフレッシュ休暇の導入

- ・リフレッシュ休暇として連続5日の休暇（年次有給休暇2日＋公休日）及びお誕生日休暇（誕生月に1日の年次有給休暇取得を勧奨）を設けている。

## 成果

☆36協定の特別条項の上限時間（1ヶ月70時間）付近まで働いていた人もいたが、今は全員が1ヶ月45時間以内に収まるようになった。

☆リフレッシュ休暇の取得状況は6割程度（昨年度は5割弱）になった。

### 苦労した点

働き方改革により残業を減らしたことによる労働者の収入減についての不満への対応に苦労した。

外部環境による業績向上にプラスして、付き合い残業をなくしたことによる生産性の向上によって業績がアップし、それを賞与に還元したことにより不満に対応した。

## その他の事業

【事業の種類】 情報サービス業 【労働者数】 50～100人

### 取組

#### ☆ 所定外労働時間の削減のための取組

- ・ 水曜日、金曜日をノー残業デーに設定した。
- ・ 終業時刻にチャイムを鳴らし、労働時間の意識付けを図った。
- ・ 繁忙期には三交替制を取る等、柔軟な勤務体制を構築した。

#### ☆ 年次有給休暇の取得促進の取組

- ・ 上司から率先して年次有給休暇を取得し、部下も取得しやすい風土を構築した。
- ・ 毎月の勤務表作成時に、休暇取得申し出をしやすくするため、労働者へ年次有給休暇の取得を書面で意思確認を行った。

### 成果

☆ 1ヶ月の平均所定外労働時間数は約 20 時間

☆ 年次有給休暇の取得率は約 75%

【事業の種類】 保育施設 【労働者数】 10～50人

### 取組

#### ☆ 勤務間インターバル制度の導入

#### ☆ ICシステムによる勤怠管理システムの導入

残業が多く従業員の健康面に不安があったため、勤務間インターバル制度を導入することとし、インターバル対象者には翌日の出勤予定時刻が自動的に送信、制度の実施状況も容易に把握できるシステムを導入した。

☆ 時間外労働等改善助成金（勤務間インターバル導入コース）を活用しての導入

### 成果

☆ システムを活用した制度の導入であったため、インターバル対象者の出退勤時間の管理が容易となり、事務作業も軽減されるなど、全社的に労働時間の削減に繋がった。

# 生産性向上取組 の事例集



マークは、労働関係助成金を利用された事例です。

## 製造業

【事業の種類】 自動車整備業

【労働者数】 1～10人

助

### 車両外装仕上げ及び車内清掃機器の導入・更新による 自動車クリーニング作業の自動化

#### 課題

☆自動車のワックス掛けや、車内のシートを清掃するのに、一人当たり3時間程度の時間がかかっていた。そのため一日で処理できる台数に限りがあり、台数が多い場合には残業しながらこなしていた。



#### ポリッシャーおよび温水リンサーの 導入・更新

#### 改善

☆新型のポリッシャーに更新することで、車両のワックス掛けにかかる時間を短縮することができた。また、温水リンサーを導入したおかげで車内シートの清掃作業を効率よく行うことができるようになった。

#### 結果

☆自動車のクリーニング作業にかかる時間を約30%削減できた。

【事業の種類】 その他の土石製品製造業

【労働者数】 1～10人

助

### 切断角度可変型切断機の導入による作業の効率化

#### 課題

☆従来タイルを切断するために使用している切断機では、直角切りと固定45度切りしかできないため、それ以外の角度に加工する場合は、グラインダーで手擦り作業を行って対応していた。また、30cmを超える寸法の切断加工依頼があった場合は、切断ラインを手書きし作業しなければならず、非常に手間がかかっていた。



#### 切断角度可変型切断機の導入

#### 改善

☆新たな切断機を導入したことで、90度以外の加工依頼があった場合でも機械で対応できるようになった。また、最大加工寸法も広がり、30cmを超えるものに手書きでラインを引く作業も不要となった。

#### 結果

☆切断作業にかかる時間が1/10となった。

【事業の種類】 パン菓子製造業

【労働者数】 1～10人

助

## 調理機器の導入による作業の効率化と品質の向上

### 課題

☆生地切断を手作業で行っていたが、品質に差が出ないように気をつけて作業しなければならず、時間もかかっていた。  
また、製品を既設のオーブンで焼き上げる際には、焼きムラができないよう温度や焼き時間を人手によって管理しなければならず、時間もかかっていた。



### クッキーカッター及びスチームオーブンの導入・更新

### 改善

☆クッキーカッターの導入により、生地を機械で均一にカットできるため、品質も安定し、作業時間も短縮できるようになった。  
☆スチームオーブンを導入したことで焼きムラの心配がなくなり、焼き上がりまでの管理に手が取られることがなくなった。また、焼き上がりまでに要する時間も短くなった。

### 結果

☆生地切断作業にかかる時間を約30%、焼き上げにかかる時間を約20%、それぞれ短縮できた。

【事業の種類】 一般機械器具製造業

【労働者数】 100～300人

## 従業員の技能・意欲の向上を通じた労働生産性の維持向上

### 取組

- ☆採用直後から3か月間、モノづくりにおける基本的な技能の習得。
- ☆新採研修後、製造現場に配属になると、事業所の技能習得のため、専門施設で技能訓練を開始する。
  - ・講師は「現代の名工」として表彰された2名のベテラン社員が担当。新人に限らず、従業員全員の技能習得・向上の場として活用している。1週間の技能講習を勤務スケジュールに組み込み、年間少なくとも2～3回は受講させている。
  - ・技能検定2級に合格したら、「技能士」のネームプレートを本社厚生棟（従業員が頻繁に出入りする施設）に掲げることで、従業員の技能向上への意欲を喚起している。
- ☆「顧問制度」の創設・活用
  - ・自社の講師のみでは習得が困難な技能の習得を目的とした、外部専門家を講師に招く、「顧問制度」を設けており、各種技能の習得に取り組んでいる。
- ☆従業員の自発的な技能・能力向上支援
  - ・事業所の受講費用全額負担により大学の通信講座を受講できる制度を設けており、従業員の自発的な技能・能力向上を積極的に支援。
- ☆人事交流（技能交流）の実施
  - ・他社の技術、生産管理、経営理念等に直接触れることにより、従業員の技能・意欲のさらなる向上が図られるよう、同業他社との人事交流（技能交流）を実施。

## 建設業

【事業の種類】 土木工事業

【労働者数】 1～10人

助

### ボーリングマシンの高性能化による地盤調査時間の短縮

#### 課題

☆地盤調査にかかる時間の多くは試錐機（ボーリングマシン）による掘削時間であり、機械の性能差が作業時間の長さに直接影響していた。  
掘削時間・・・2時間/m × 100m/月 × 2人 = 400時間/月

#### 高性能ボーリングマシンの導入

#### 改善

☆掘削速度が約2倍となり、作業時間を大幅に短縮できた。  
☆今まで手作業だったロッドの交換が自動でできるようになり、時間短縮と安全性向上を達成できた。  
☆掘削能力も100mから300mに向上したため、対応できる事業の範囲が広がった。

#### 結果

☆掘削速度が約2倍となったことで、作業時間を半分程度に短縮できた。

【事業の種類】 鉄筋工事業

【労働者数】 10～50人

助

### 鉄筋自動切断機の導入による作業効率の向上

#### 課題

☆鉄筋の切断を手動の切断機により行っていたが、二人がかりの作業となり、一本切るのに20～30秒かかっていた。

#### 鉄筋自動切断機の導入

#### 改善

☆鉄筋自動切断機は力がいらないので、高齢の従業員一人でも簡単に作業できる。また、一度に5～6本を切断できるため、作業時間を大幅に短縮できた。

#### 結果

☆作業効率が改善前の4倍程度に向上した。

## 商業

【事業の種類】 自動車販売業

【労働者数】 1～5人

助

### 車両積載車の導入による車両引取り作業の効率化

#### 課題

☆引き取り依頼があった車両を引取りに行く際には、従業員2名で業務車両に乗って現地に向かい、到着後は一人が引き取り車両を、もう一人が業務車両を運転し帰社する。車両の引取り業務に常に二人分の手がかかっていた。



#### 車両搭載車の導入

#### 改善

☆車両積載車を導入してからは、一人でも車両に引取り業務ができるようになった。そのため今まで同乗していた従業員は、会社で別作業ができるようになった。

#### 結果

☆車両引取り業務にかかる人手を半分にできたので、大幅な時間短縮を実現できた。

【事業の種類】 燃料小売業

【労働者数】 1～10人

助

### ガソリンスタンド向け勘定系システムの導入による事務作業の短縮

#### 課題

☆請求書作成業務や売上げ計算等の経理関係の業務は、すべて手書きの作業であったため、記入ミスが発生するなど作業に時間がかかり、負担になっていた。



#### ガソリンスタンド向け勘定系システムの導入

#### 改善

☆請求書作成業務や経理処理・売上分析などの事務作業をシステムで行えるようになったため、作業時間を大幅に短縮することができた。また、手書きと比べて記入ミスを防止することができた。

#### 結果

☆事務作業に必要な時間を25%程度短縮できた。

【事業の種類】 調剤薬局

【労働者数】 10～50人

助

## 調剤散薬監査システムの導入による安全正確な秤量の実現と 監査時間の短縮

### 課題

☆医療機関からの処方箋を多く取り扱っているため、薬の内容・量については 厳しく監査している。しかし、薬剤師不足の状況で監査を行っているために一人にかかる負担が大きく、時間がかかっていた。そのため患者さんの待ち時間も増えてしまう状況であり、安全管理面に不安もあった。



### 調剤散薬監査システムの導入

### 改善

☆システムの導入によって、薬剤をバーコードで管理し画面で確認するため、ミスを防止できるようになった。秤量ミスについても、注意画面が出るため間違いがなくなり、秤量記録も残るので安全である。結果として、監査にかかる時間を短縮することができた。

### 結果

☆監査にかかる時間を約30%短縮できた。

【事業の種類】 薬局

【労働者数】 10～50人

助

## 封入封緘機の導入による作業の効率化

### 課題

☆年2回、1回につき600枚のダイレクトメールを地域に送っている。そのために600枚のチラシを三人の職員が3日間かけて手作業（三つ折り→宛名印刷→封筒詰め→糊付け）を行い投函していた。しかし、手間と従業員の負担が大きいため、年2回しか実施できなかった。また、他の月にはハガキを送付しているが、チラシと比べて業績に結びつきにくかった。



### 封入封緘機の導入

### 改善

☆機械の導入でチラシの三つ折り作業、封入（糊付け）まで自動でできるようになり、手作業は紙のセットと投函のみと作業負担が減った。一人で作業できるようになったので、他のスタッフは別の業務に専念できるようになり、労働率が上がった。また、毎月チラシを送れるようになったので業績の向上も期待できた。

### 結果

☆作業時間が1/10程度となり大幅に作業効率が上がった。

【事業者名】 佐賀青果食品協同組合

## 情報一元化による物流費削減、企業間連携による 地域プロモーション・地域活性化

### 取組

- ☆中小スーパー、八百屋等専門小売店等85の事業者により、自宅から注文をワンストップで受ける協同組合を組織し、食材を自宅まで配達するサービスを実施（1回300円の一括料金）
- ☆同組合本部は利用者から注文を受けた場合、その利用者の最寄りの組合員から商品を配達する仕組みにより、物流費を削減。



### 成果

- ☆専門小売店等が連携し、物流費の削減に成功
- ☆御用聞きサービスとあわせて高齢者の安否を確認する“見守りサービス”（無料）も行っており、地域住民のコミュニティづくりにも貢献。

## 飲食業

【事業の種類】 飲食業

【労働者数】 1～10人

助

### 全自動炊飯器の導入による作業時間の削減

#### 課題

☆炊飯までの作業として、①計量、②洗米、③洗米した米と計量した水を炊飯器に投入、④炊飯、といった工程が必要であり、一回当たり30～40分の時間がかかっていた。さらにこの作業を一日当たり2～3回行う必要があり、女性従業員にとっては重労働のため、大きな負担となっていた。

#### 全自動炊飯器の導入

#### 改善

☆全自動炊飯器の導入により、一連の工程をすべて自動化できた。そのため、従業員は空いた時間を他の作業に当てることができ、自社の接客サービスを充実させることができた。

#### 結果

☆従業員の負担を軽減し、一日当たり2時間程作業時間を削減できた。

【事業の種類】 飲食業

【労働者数】 10～50人

助

### POSレジシステムの導入によるオーダー業務と在庫管理業務の効率化

#### 課題

☆導入していた古いPOSレジシステムでは通信速度が非常に遅く、厨房にオーダーをスムーズに伝達できないでいた。そのため手書きで注文を受けることもあり、結果として精算時のミスを生じるなど、効率よく作業ができなかった。また、注文を受けるためのハンディシステムも足りていない状況であった。

#### 新規POSシステムの導入

#### 改善

☆新しいPOSレジシステムの導入により、注文の伝達がスムーズになってミスが減り、作業効率が良くなった。また、ハンディシステムを増台し、従業員の負担が軽減された。新システムによって在庫管理も簡単になり、棚卸し作業に要する時間も削減できた。

#### 結果

☆注文等に係る作業効率を約50%上げることができた。

## 社会福祉事業

【事業の種類】 介護事業

【労働者数】 1～10人



### 利用者見守り用ネットワークカメラシステムの導入による 巡回作業負担の軽減

#### 課題

☆夜間勤務の従業員は、指定時間になると定期的に巡回作業に従事するため、その都度他の作業を中断しなければいけなかった。また、施設利用者の容態が急変していないか常に不安にさらされるため、心理的な負担も大きかった。



#### ネットワークカメラシステム の導入

#### 改善

☆施設利用者の状態を常に把握できるため、従業員の心理的負担を軽減できた。また、巡回にかかる作業を削減することができ、他の介護業務に時間をあてられるようになった。ほかにも負担軽減により業務ミスの減少や、夜間勤務者の定着率の向上もみられた。

#### 結果

☆夜間勤務者の負担軽減と、一日約2時間の巡回作業削減を達成できた。

【事業の種類】 医療保健業

【労働者数】 10～50人



### 医療事務システム（レセプトコンピュータ）の導入による 業務の効率化

#### 課題

☆患者の情報管理や提出データの作成は、ミスがないよう細心の注意が必要なおもあり、業務の処理にかなりの時間がかかっていた。



#### 医療事務システム （レセプトコンピュータ）の導入

#### 改善

☆日時処理が自動化されたため、処理時間を短縮できた。また、過去の患者情報を短時間で参照できるようになったため、作業性も向上した。さらにデータのエラーチェック機能があるなど、個人情報管理への配慮もできるようになったため、作業の質も向上し労働能率が増進した。

#### 結果

☆レセプト電算データ作成・処理時間を30%程度短縮することができた。

【事業の種類】 医療保健業

【労働者数】 1～10人



## 歯科用印象材混こう器、サージテレスコープおよび LEDライトシステムの導入による作業効率の改善

### 課題

- ☆歯の型取りの際に使用するアルジネート（粘土質の材料）は手練りによって作っており、印象採得1回あたり約3分かかっていた。また手練りだと気泡が入ってしまい、作り直しが必要となることもあった。
- ☆歯石除去や歯石炎化除去等については肉眼で行っており、患者一人当たり20～40分の時間がかかっていた。



### 歯科用印象材混こう器・テレスコープ ・LEDライトシステム の導入

### 改善

- ☆印象材混こう器の導入によりアルジネートの作成時間が短縮された上に、誰が作っても質が均一となり作り直しなどの業務負担が減った。
- ☆テレスコープとLEDライトシステムの導入により、正確かつ緻密な除去が可能となり、患者の負担軽減と業務の質の向上を図ることができた。

### 結果

- ☆アルジネート作成時間を50%以上、歯石除去等の治療時間を25%程度、それぞれ短縮できた。

## 旅館業

【事業の種類】 旅館業

【労働者数】 10～50人

助

### 調理用機器の導入による調理時間の短縮と洗浄室の改装による作業の効率化

#### 課題

☆毎日、調理前のごしらえに2時間程かかっており、負担が大きかった。また、食器類を洗浄する作業では、洗浄レーンから洗浄器までの動線が遠く、作業効率が悪かった。

#### スチームコンベクションオーブンの導入、洗浄室の改装工事

#### 改善

☆スチームコンベクションオーブンの導入により、食品の劣化を防ぐ処理ができるようになり、一定期間食品の保存ができるようになった。そのため毎日のごしらえの作業時間を削減できた。  
☆洗浄室の改装により、洗浄レーンから洗浄器までの動線が短くなり、スムーズに作業できるようになった。

#### 結果

☆一日2時間程度、作業時間を短縮できるようになった。

## 清掃業

【事業の種類】 産業廃棄物処理業

【労働者数】 1～10人

助

### 廃棄物収集用コンテナを増設することによる廃棄物回収作業の効率化

#### 課題

☆自社で所有しているコンテナの台数が少ないため、廃棄物を客先へ回収しに行く際には、①ロールアーム車で持ち込んだコンテナに廃棄物を積み込み、②会社に持ち帰った廃棄物を敷地内に降ろす作業が必要となり、効率が悪かった。

#### 廃棄物収集用コンテナの増設

#### 改善

☆コンテナの台数を増やして、そのコンテナを客先に設置することにした。そのおかげで廃棄物を回収する際は、ロールアーム車で持ち込んだ空のコンテナと、客先に設置しておいた廃棄物の入ったコンテナを入れ替えるだけで済むようになり、収集作業を簡略化することができた。

#### 結果

☆廃棄物回収作業にかかる時間が、従来の1/3になった。

## 佐賀働き方改革推進センターのご案内

無料

※平成30年度 厚生労働省佐賀労働局委託事業

### 働き方改革に関する相談をワンストップでお受けします！

～労務管理・企業経営等の専門家による電話相談や企業訪問相談、出張相談会を実施～

佐賀働き方改革推進支援センター（佐賀県社会保険労務士会内）

TEL 0120-610-464

佐賀市川原町8-27

働き方改革の実行に向けて、中小企業・小規模事業者を中心に、非正規雇用労働者の処遇改善、労働時間の短縮及び生産性向上による賃金引上げ、人手不足の緩和等に向けた取組を支援するため、働き方に関する相談をワンストップでお受けします。また、事業場へのお出張相談やセミナーも開催する予定です。

## 生産性向上のための各種支援制度

### 個別企業のコンサルティング

無料

働き方・休み方改善コンサルタントが、企業を個別訪問し、ヒアリングによる現状把握・分析の上、労働時間について、働き方・休み方の改善のためのアドバイスを行います。

佐賀労働局雇用環境・均等室  
佐賀市駅前中央3丁目3-20  
tel 0952-32-7167

### 生産性向上支援訓練

助成金利用可能

企業の生産性向上に必要な生産管理やマーケティング等をテーマとするセミナーを実施します。訓練内容や開催日程・場所は、企業のご要望に応じて当センターがコーディネートします。また、要件を満たせば、助成金を活用することができます。

生産性向上人材育成支援センター  
(ポリテクセンター佐賀)  
佐賀市兵庫町若宮1042-2  
tel 0952-26-9516

### 個別企業の課題解決を支援

無料

県内中小企業が経営を改善して、労働生産性の向上を図り、新製品の開発や職場環境の改善、人材育成の充実、従業員の賃金上昇等が可能となるよう支援をします。セミナー等の開催のほか、個別企業の課題に合わせ専門員が定期的に訪問指導する個別企業支援を行っています。

佐賀県中小企業塾  
(公財) 佐賀県地域産業支援センター  
佐賀市鍋島町八戸溝114  
tel 0952-34-4411

### 経営上の悩みなんでも相談

無料

経営全般、現場改善、販売促進・広報などあらゆる経営課題に対応します。様々な分野のエキスパートが事業主を支援します。

佐賀県よろず支援拠点  
<http://www.with-biz.jp>  
(公財) 佐賀県地域産業支援センター内  
佐賀市鍋島町八戸溝114  
tel 0952-34-4433

## 働き方改革のための各種助成金制度

### 業務改善助成金

佐賀労働局雇用環境・均等室  
tel 0952-32-7218

事業場内最低賃金を一定額以上引き上げ、設備投資（機械設備、POSシステム等の導入）などを行った場合に、その費用の一部を助成します。

### 時間外労働等改善助成金

佐賀労働局雇用環境・均等室  
tel 0952-32-7218

**時間外労働上限設定コース** 時間外労働の上限設定を行う中小企業事業主に対し助成します。

**勤務間インターバルコース** 新規に9時間以上の勤務間インターバルを導入する中小企業事業主に対し助成します。

**職場意識改善コース** 年次有給休暇の取得促進、所定外労働の削減等を推進する中小企業事業主に対し助成します。

### キャリアアップ助成金

佐賀労働局職業安定部職業対策課  
tel 0952-32-7217

有期契約労働者、短時間労働者、派遣労働者といったいわゆる非正規雇用労働者の企業内のキャリアアップ等を促進するため、**正社員化**、**処遇改善**の取組を実施した事業主に対して助成します。

### 両立支援等助成金

佐賀労働局雇用環境・均等室  
tel 0952-32-7218

従業員の仕事と育児または介護との両立を支援するための取組を行い、円滑な休業取得や職場復帰、職場環境の整備を行った事業主に対し支給します。

★一部の助成金については、「生産性要件」を満たした場合、助成金の割増を受けることができます。

この冊子に関するお問合せは

**厚生労働省 佐賀労働局雇用環境・均等室**

TEL 0952-32-7167

TEL 0952-32-7218

<http://saga-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/>

佐賀市駅前中央3丁目3-20 佐賀第2合同庁舎